



# 富山県立大学ニュース

平成27年5月発行  
富山県立大学学生委員会

NO.107

## 平成27年度入学式

4月6日



### CONTENTS

- 理事長挨拶
- News Digest
- 学生レポート
- OB・OG紹介
- INFORMATION など



富山県立大学の公立大学法人化に伴い、4月から理事長に就任しました寺井幹男です。本学は、平成2年に日本海側屈指の工業集積を背景に、富山県立の工学系大学として開学し、今日まで教育、研究、地域連携を積極的に推進して実績を上げ、就職に強い大学、研究力の高い大学として高く評価をいただいております。これは、学生の皆さんや教職員の努力はもとより、企業や自治体など多くの皆様のご支援の賜物と感謝いたしております。

一方で、現在、グローバル化が進展し、また、18歳人口の減少により大学間の競争が一層激化する中で、本学は、県民の皆様や産業、社会の期待に応え、地方創生の一翼を担ってさらに飛躍していくため、この4月から公立大学法人となり、経営体制の強化を図りました。

このたびの法人化により、今まで以上に機動性、透明性を高めるとともに、今後6年間の中期目標を定め、①学生を大きく伸ばす教育力の高い大学(地域産業や国際社会で活躍する人材の育成)、②未来を志向した高度な研究を推進する大学(ERATO事業等の最先端研究や地元企業との共同研究)、③広く開かれ地域に貢献する大学(地域の知の拠点)を目指すこととしています。さらに、今後、産業社会のニーズに応え、学生定員の拡大と施設整備を計画し、富山県の発展に寄与する魅力ある大学として、積極的な運営に努めてまいります。

皆様の温かいご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 理事役員

役職	氏名	所属・課
理事長	寺井 幹男	
副理事長	石塚 勝	県立大学学長
理事	杉野 太加良	県立大学研究協会会長 株スギノマシン代表取締役社長
理事	町野 利道	県立大学研究協会副会長 富山県経営者協会副会長、コーセル(株)取締役
理事	松本 三千人	県立大学副学長・工学部長
理事	山本 修	県立大学事務局長

# News Digest



## 学内合同企業説明会

3月5日(木)・6日(金)の2日間にわたり、本学大谷講堂で、学内合同企業説明会を開催しました。この企業説明会は、平成28年3月卒業・修了予定の学生の業種・職種等について研究し、企業の採用スケジュールなどについて直接企業の人事担当者から情報収集を行うもので2日間で延べ262名の学生が参加しました。

企業は1日目が県外企業を中心に60社、2日目は県内企業を中心に60社、計120社が参加しました。

## 環境マネジメントセミナー

富山県立大学3階A307講義室において、3月13日(金)に富山県立大学環境マネジメントセミナーを開催しました。

このセミナーは、環境マネジメントシステム「エコアクション21」について紹介することを目的に行われ、エコアクション21審査人の榎谷 昇氏による講演、県内企業によるエコアクション21への取組事例の発表に加えて、参加者が抱える実際の課題をワークショップ形式で議論するなど、実践的なセミナーとなりました。なお、セミナー後には情報交換会が行われ、受講者同士の交流の場が設けられました。



## 中国大連トレーニー派遣

北陸銀行主催で中国大連へのトレーニー派遣が平成27年3月11日～14日の3泊4日で実施されました。本学からは2名が参加し、ほかに富山大学・金沢大学から10名が参加して、大連YKKファスナー、大連ソフトウェアパークの見学や、大連理工大学生との交流会、旅順視察などを行いました。参加した学生は、現地企業の発展とともに大連の街の著しい発展や大連理工大学生の語学力に驚き、実際に自分の目で見て聞いて感じる経験の重要性を体感しました。



## パステル工房ものづくりコンテスト

パステル工房では、特別教育プログラムのひとつとして「ものづくり研修会およびコンテスト」を毎年実施しています。26年度は3月に14名の参加者が2～3日間の研修と成果を競うコンテストを開催しました。直接機械に触れることができたこと、ものづくりの楽しさを実感できたこと、少人数での丁寧な指導であったことなど、参加者の多くが大変満足されていました。今後は、開催時期や内容を見直し、さらに多くの学生の参加を期待しています。



## 平成26年度学位記授与式

3月21日(土・祝)、アイザック小杉文化ホール・ラポールにおいて、平成26年度富山県立大学学位記授与式が行われました。式では、石塚 勝 学長が「コミュニケーション力を持って社会に貢献する立派なエンジニア、リサーチャーとして大きく成長することを祈念する」と、式辞を述べました。また、石井 隆一 富山県知事が「夢と高い志を持って、新しい国づくりのために活躍していただきたい」と、告辞を述べました。

式に併せ、各学科において成績優秀と認められた学生1名に、学長からベストチューデント賞が贈られました。受賞された方々は、右のとおりです。

工学部機械システム工学科	塩原 裕規
工学部知能デザイン工学科	古田 有紀
工学部情報システム工学科	川端 麻友美
工学部生物工学科	野尻 茜
工学部環境工学科	桶谷 弦輝

## 平成27年度入学式

4月6日(月)、アイザック小杉文化ホール・ラポールにおいて、平成27年度富山県立大学入学式が行われ、321名の新しい学生を迎えました。式では、寺井 幹男 理事長が、「新しい文化を創る担い手として育てていただきたい」と挨拶。続いて石塚 勝 学長が、「好奇心を持って勉学に励み、社会に貢献できるエンジニアやリサーチャーとして成長してほしい」と式辞を述べました。

また、寺林 敏 富山県副知事が「旺盛な好奇心をもって新たな課題にチャレンジし、学生生活を実り多いものとして下さい」と知事の祝辞を代読されました。

最後に工学部の山岸祥希さん、大学院の青島和音さんが新入生を代表して誓詞を述べました。

## 本学教員等の受賞について

### 環境工学 川上 智規 教授

The 11th International Symposium on Southeast Asian Water Environment (SEAWE11) Best Poster Award H26.11.28受賞

受賞論文 「Factors affecting people's preferences on lake function for sustainable management of Kandy Lake, Sri Lanka」

<研究の概要等>

スリランカ中央部のKandyにあるKandy湖は、スリランカ仏教の聖地である仏蘭寺に併設されている人造湖です。仏蘭寺や周辺の建築は聖地Kandyとして世界遺産に登録されています。しかしながら、近年、観光客の増加に伴う周辺のホテル等からの排水による水質の悪化が著しいです。本研究では聖地でありかつ観光資源であるKandy湖を対象として、その機能と管理法について、現地でワークショップを開催するなどしてステークホルダー（周辺住民、ホテル業、観光客等）の意向をまとめました。機能としては、すべての世代の人々から宗教、文化、歴史上の重要地点であると認識されていました。一方、利用面からは観光資源として積極的に利用すべきであるという意見が若い世代に見られました。



### 機械システム工学科 大嶋 元啓 助教

日本機械学会奨励賞（研究） H27.2.12受賞

受賞論文 「噴霧・燃焼技術の応用による薄膜・微粒子形成の研究」

<研究の概要等>

半導体薄膜を成膜する方法に化学気相堆積法（CVD法）と言うものがあります。CVD法に高沸点高反応性原料を用いると配管および気化器では原料が熱分解・析出する問題点があります。本研究は原料に低沸点溶液を混合することにより原料の蒸発特性を改善し、気化器を用いない減圧沸騰による原料気化手法を提案し、CVD法の問題点を改善しました。また、SiO<sub>2</sub>薄膜、次世代強誘電体薄膜の成膜にも成功し、高精度の間欠供給による膜厚制御も可能にしました。さらに本技術を応用してTiO<sub>2</sub>微粒子の生成にも成功しました。



## 本学学生等の受賞について

受賞者	学科等	学会賞名	受賞年月	指導教員
岩田 健志 刀祢 翔平 中山 拓巳	情報システム工学専攻博士前期課程2年	平成26年度電気関係学会北陸支部連合大会 優秀論文発表賞	2015年1月	講師 中村 正樹
久々湊竜童	情報システム工学専攻博士前期課程1年	平成26年度電気関係学会北陸支部連合大会 優秀論文発表賞	2015年1月	教授 松田 敏弘
花村 拓哉	機械システム工学専攻博士前期課程1年	第28回エレクトロニクス実装学会春季講演大会 研究奨励賞	2015年3月	教授 森 孝男
石崎 皓大	知能デザイン工学専攻博士前期課程2年	計測自動制御学会北陸支部優秀学生賞	2015年3月	准教授 小柳 健一
岡田 脩平	知能デザイン工学専攻博士前期課程2年	日本音響学会北陸支部 優秀学生賞	2015年3月	教授 平原 達也
森田 悠生	知能デザイン工学科4年	電気学会北陸支部 優秀学生賞	2015年3月	教授 中村 清実 准教授 高野 博史
川端 凌平	知能デザイン工学科4年	ライフサポート学会 奨励賞	2015年3月	講師 中井 満

# 学生 レポート

## PSU語学研修に参加して

富山県立大学

知能デザイン工学科3年 田中 祥太

私は、2月19日から3月15日までポートランド州立大学（PSU）で行われた、PSU語学研修に参加しました。PSU語学研修では、23日間ポートランド州立大学で授業を受け、ホームステイをしました。授業、ホームステイ共に常に英語で会話をしました。

私のPSU語学研修の参加の動機は2つありました。1つ目に、国際交流です。私は2年生の夏休みに、中国、遼寧省にある瀋陽化工大学に短期留学をしました。そこで国際交流の楽しさを学び、再び国際交流をしたいと感じました。2つ目に、英語力の向上です。国際交流をする上で、英語は必ず必要になってきます。そのため英語力を向上したいと思いました。

今回の留学で多くの経験をしました。楽しい経験、驚く経験、怖い経験など毎日が自分の刺激になることばかりであり、多くのことを吸収することができました。私は英語力には自信がありません。しかし、ホストマザーはとても優しく、私の片言の英語であっても真剣に聞いてくれました。よって、積極的に話しかけることができました。

この留学を通して、私は新たな目標ができました。日本だけで働くのではなく、世界で働くことのできる技術者になるという目標です。この目標を達成することは簡単ではありません。目標を達成するために、日々の努力を惜しまず頑張ることを決意しました。

私は、PSU語学研修、瀋陽化工大学短期留学に参加し多くの刺激を得ることができました。海外を経験することはとても良い刺激になります。最後に、PSU語学研修、瀋陽化工大学短期留学でお世話になった方々すべてにこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。



ホストファミリーと海での写真

## PSU語学研修に参加して

富山県立大学大学院 工学研究科（博士前期課程）

知能デザイン工学専攻 知能システム工学部門

黒澤 進太郎

平成27年2月、PSU語学研修に参加し、3週間ホームステイをしながらアメリカポートランド州立大学で英語の勉強をしました。授業では他大学の学生も交え、クラスメイトと英語で会話したり、地元の人々にインタビューしたりと、多くの英語に触れることができました。また、授業の一環として、マクミナミンズ・ケネディ・スクールと呼ばれる木造校舎をリノベーションしたホテルなどの有名な建造物に足を運び、ポートランドの文化について学びました。“KEEP PORTLAND WEIRD”という言葉があるようにポートランドには個性的で魅力的な人々がたくさんいました。

週末にはホストファミリーと一緒にハイキングに行ったり、外でBBQをしたりして楽しみました。また、帰国前日にはホストファミリーの近所の家ホームパーティに参加し、多くの人と英語で会話することができました。ホームパーティに参加していた人の中に日本語がとても上手な方がいました。私はその方から日本語をどのように勉強したかや英語を勉強していく上で大切なことを教えていただきました。そして、以前よりもスムーズに英語でコミュニケーションをとれるように勉強をしたいと強く思いました。この経験は、おそらくこれから先二度とない貴重な経験だと思います。

最後に、このプログラムを通して、多くの素晴らしい出会いがあり、多くの人と交流を深めることができました。今回の研修でお世話になりましたホストファミリー並びにPSUスタッフの方々、\*ANDEOの方々、大学関係者の方々に深く感謝いたします。

※ホームステイ手配会社



ホームパーティでの写真

# OB・OG 紹介

## モノづくりの世界の面白さ



防音実験室にて

トヨタ車体株式会社 藤村 英文

(2003年3月 富山県立大学大学院工学研究科)  
博士前期課程 機械システム工学専攻 修了)

### 1.現在の業務

私は富山県立大学で学部、大学院博士前期課程の6年間の大学生活を経て、現在はトヨタ車体株式会社で、もっといいクルマづくりに向けたモノづくりを頑張っています。弊社は社名に『車体』とありますが、自動車の生産だけでなく、企画や開発も行い、トヨタ車の中でミニバン、商用車、SUV系を主に担当しています。

私の所属は車両実験部 振動実験室で、自動車の振動や騒音の実験による性能開発をしています。自動車の振動騒音とは、エンジンやタイヤ等が発音源や起震源となる騒音や振動、空気の流れによって発生する風切音などです。私の任務は、その振動騒音を最小限にして車を買っていただいたお客様に快適性を提供することです。例えば、モーター走行状態があるハイブリッドカーは、エンジンやタイヤ音も目立ちにくく静かに感じたり、スポーツカーはアクセルを踏むとスピードが上がると共に、音もリニアに上がり気持ち良く、楽しく感じたりしませんか？その性能開発です。日々の業務は、新規開発車両のデザイン再現車の風洞実験や、試作車で実際にテストコースを運転し、自ら音や振動を感じ、実験計画、データ計測、対策検討、対策案出しを行い、製品への反映に向け走り回っています。

自動車のボディー、ドア、内装部品だけでなく、エンジン、タイヤ、サスペンション、トランスミッション、ハイブリッドシステム等、あらゆる部品に携わるので、今でも毎日、沢山のことを学んでいます。

### 2.大切にしているもの

就職して約10年経ちますが、『冒険心』と『仲間作りの大切さ』を常に意識して日々過ごしてきました。『冒険心』とは何にでも興味を持ち、そこに飛び込んでみることです。買って頂いたお客様を思い浮かべ、試作車に乗って改善点を見つけ、「よしやるか!」と思います。そこから、関係者=仲間へ協力要請をして共に良い製品となるよう取り組みます。モノづくりは決して一人ではできません。ちなみに、一緒に良い製品にしていく上で、振動騒音以外の強度性能・衝突安全性能など、他の性能担当者とも協議することがあるので、幅広い知識が必要です。大学で学んだ専門知識が生かされます。

### 3.本業以外でも・・・

学生時代を振り返ると、講義以外の場で、部活(スノーボード部)、アルバイト、研究などを通じて人間関係の大切さや構築の仕方を学びました。

私の今の趣味は冒険心を元に行っているマラソンと海外一人旅です。マラソンは今でこそ7年目を迎え、毎年フルマラソンに出場していますが、始めた頃は、42.195kmを走り切るなんて想像ができない中で走り始め、走れるようになった今では、もっと長い距離を走れるようになりたいと思い日々努力しています。海外一人旅では、これまで数カ国へ行きましたが、私にとっては旅行でなく、見知らぬ土地への冒険なのです。ホテルから一步踏み出す瞬間、心地よい緊張感と喜びを感じます。こうして、仕事以外でも『冒険心』と『仲間作りの大切さ』を忘れず日々過ごしています。

### 4.最後に

まだまだ経験の浅い自分が言うのもなんですが、モノづくりは素晴らしいです。モノづくりの過程の中で、仲間ができ、自らも成長し、数々のドラマがある。その結果、製品を世に送り出した時、苦楽を共にした仲間と喜びを分かち合えます。学生のみなさん、社会に出て活躍する分野をイメージしてください。今やることが見えてきますよ。授業や研究、学んだことは将来に役立ちます。更に充実すべく大学生活を大いに楽しんでください。



スノーボード部OB合宿  
中央下から二人目が私



アンコールワットへ一人旅  
それ以外も含め、大学で

## 博士の学位授与報告

3月21日(土)の学位記授与式において、博士(工学)の学位を授与された方の氏名と論文題目は次のとおりです。

### 【論文博士】

(機械システム工学専攻)

西 剛伺 マイクロプロセッサの非定常動作を考慮した小型電子機器の熱設計に関する研究

(知能デザイン工学専攻)

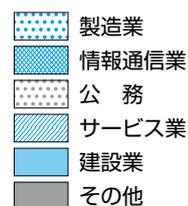
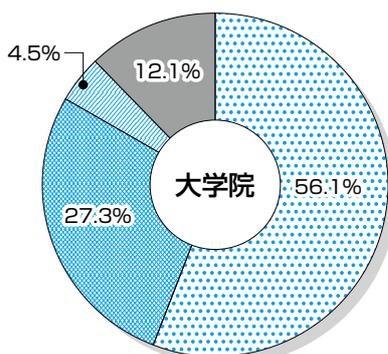
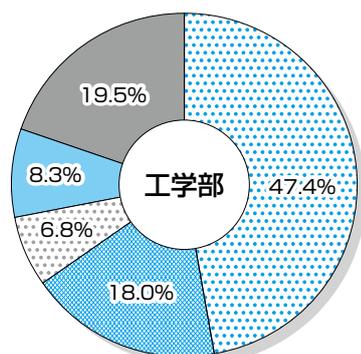
岩塚 健一 マイクロ流体チップ金型の微細溝加工に関する研究

## 平成26年度卒業・修了生進路状況

	卒業・修了者数	就職者数		進学者数	
			うち県内就職		うち本学大学院
工 学 部	211 (43)	133 (32)	61 (22)	78 ( 7)	75 (10)
機械システム工学科	45 ( 0)	25 ( 0)	12 ( 0)	20 ( 1)	20 ( 0)
知能デザイン工学科	45 ( 6)	27 ( 5)	11 ( 2)	18 ( 1)	17 ( 1)
情報システム工学科	49 ( 6)	27 ( 2)	11 ( 2)	22 ( 0)	20 ( 3)
生物工学科	34 (25)	28 (20)	15 (13)	6 ( 4)	6 ( 5)
環境工学科	38 ( 6)	26 ( 5)	12 ( 5)	12 ( 1)	12 ( 1)
大学院・博士前期課程	71 (12)	66 (11)	22 ( 4)	3 ( 0)	1 ( 0)
機械システム工学専攻	15 ( 1)	15 ( 1)	2 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)
知能デザイン工学専攻	17 ( 1)	14 ( 1)	5 ( 0)	1 ( 0)	0 ( 0)
情報システム工学専攻	17 ( 2)	17 ( 2)	7 ( 2)	0 ( 0)	0 ( 0)
生物工学専攻	14 ( 6)	14 ( 6)	7 ( 2)	0 ( 0)	0 ( 0)
環境工学専攻	8 ( 2)	6 ( 1)	1 ( 0)	2 ( 1)	1 ( 1)

( ) は女子内数

### 【業種別就職状況】



## 人事消息

異動区分	職	氏 名	異動区分	職	氏 名
就 任 (27.4.1)	理事長 副学長 事務局特別参与 副学生部長 地域連携センター所長	寺 井 幹 男 松 本 三千人 木 下 晶 中 川 佳 英 前 田 幸 男	退 職 (27.3.31)	工学部教授 工学部教授 工学部教授 工学部准教授 工学部准教授 工学部准教授 事務局特別参与 教務課主事	岡 田 敏 美 佐 藤 幸 生 九 里 徳 泰 上 谷 保 裕 須 田 孝 司 荻 田 信二郎 藤 縄 太 郎 松 原 由 貴
新規採用 (27.4.1)	工学部講師 工学部講師 工学部講師	植 田 浩 明 古 澤 之 裕 遠 藤 洋 史	転 出 (27.3.31)	事務局次長・総務課長 総務課主幹 総務課副主幹 総務課副係長 教務課主任 教務課主事 教務課主事	川 嶋 芳 明 林 智香子 恒 川 いづみ 松 井 百 合 藤 井 勉 越 田 真梨恵 角 藤 護
昇 任 (27.4.1)	工学部准教授 工学部准教授 工学部講師	高 野 博 史 中 田 崇 行 奥 直 也			
転 入 (27.4.1)	事務局次長・経営企画課長 経営企画課主幹 経営企画課主査 経営企画課副係長 教務課主任 経営企画課主事 経営企画課主事 経営企画課主事 教務課主事 教務課主事 教務課主事 教務課主事	荒 見 信 一 津 田 裕 子 嶋之内 弘 一 山 崎 系 子 畑 野 学 志 宇 波 ちひろ 斉 勝 大 知 岡 本 美貴子 米 澤 直 美 徳 田 竜 司 源 卓 也 春 山 菜穂子			

## ● 新任教員紹介 ●



### 教養教育 講師 植田 浩明

4月より教養教育の講師として着任いたしました。2010年に京都大学で博士号(理学)を修得後、物質材料研究機構、首都大学東京、沖縄科学技術大学院大学を経て、本学へ来ました。私の専門は物理学、特に物性物理学の理論です。場の理論や幾何学などの解析的手法と、磁性、超流動等の現象を通じて、量子力学の世界を研究しております。これまでの研究、勉強を基として、教育にも取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。



### 教養教育 講師 古澤 之裕

4月1日より、教養教育の生物学教室に講師として着任致しました。富山大学医学薬学教育部にて博士(医学)を取得後、理化学研究所・特任研究員、東京大学医科学研究所・特任助教、慶應義塾大学薬学部・助教として研究と教育に従事して参りました。大学の授業では教養科目である「生物学」を中心に、学科を跨いで広い視野を養えるよう、また生物工学科においては「生物学演習」や「生物学実習」を通じて、専門に進むにあたり求められる知識や技能を伝えられるよう勤めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



### 機械システム工学科 講師 遠藤 洋史

この4月より機械システム工学科エコマテリアル工学講座の講師として着任いたしました。2004年に富山大学にて修士課程を修了し、2007年に東北大学にて学位を取得しました。その後、物質・材料研究機構でポスドク研究員、名古屋大学、東京理科大学で助教として勤務してまいりました。北陸新幹線開業に湧く富山に11年ぶりに戻ってきました。専門分野は高分子材料・コロイド界面科学であり、主に微細リンクル加工技術を基盤とした機能性表面の開発および炭素材料やナノファイバーを扱った複合材料の開発に取り組む予定です。化学の立場から機械系との融合を図り、しっかりと研究・教育に取り組む所存です。何卒よろしくお願いいたします。

# SCHEDULE 平成27年度

		大 学 院	工 学 部
1月) 開学記念日 6(土)、7(日) 大学等リーダー研修会	6月	8月) 進路ガイダンス	20(土) オープンキャンパス
		23(火)、25(木) 特別授業(補講)	22(月) 編入学試験
4(土) サークルリーダー研修会	7月	29(月) 工学研究科入学者選抜	10(金)、23(木)、24(金) 特別授業(補講)
1(土) ダ・ヴィンチ祭 29(土)、30(日) 保護者向け就職支援セミナー	8月	18(火)、19(水) 工学研究科入学者選抜	25(土) エコツアー I
			1(土) オープンキャンパス
	9月		3(月)~11(火) 授業又は前期試験
			11(火) 前期授業終了
			24(月)~9/11(金) 集中講義

## CAMPUS NOTE

### 競技麻雀部



競技麻雀部は学生会館1Fで主に放課後に活動しています。所属人数は約20人です。活動内容は麻雀を打つこと以外にも積極的に飲み会を行い、また冬にはスキーやスノーボードにも行きます。麻雀と聞くとあまり良くないイメージを連想する方もいると思いますが、麻雀は非常に奥が深く、楽しいものです。また、麻雀とは一種のコミュニケーションツールでもあります。私たちは麻雀を通し、部員同士の仲が非常に良く、麻雀部員の特徴としては全員が全員明るい性格であるという点があります。このように全員が全員明るいというサークルは他にあまりないと思います。これも麻雀というコミュニケーションツールのおかげであると思います。

麻雀はなによりも楽しく打つ事が1番だと思っています。麻雀を通し人と人との繋がりができる事はかけがえのないことです。なので、麻雀に少しでも興味のある方、初心者、経験者問わず歓迎です!! また、友人の輪を広げたいという方も歓迎です!! 麻雀を通して友人の輪を広げましょう!!

(情報システム工学科4年 後藤優太)

### 編集後記

北陸新幹線が今年3月14日に金沢まで開業した。待ちに待った待望の新幹線である。特殊な窓ガラス、先頭車の「曲げガラス」、車輪を支えるベアリング(軸受)など、富山県内企業の様々なすぐれた技術がこの北陸新幹線で使われている。「百聞は一見に如かず」是非、時速260km(秒速にして72.2m)の速さを体験したいと思い、開業の翌週末に家内と長野まで日帰りで行って初乗りをした。まず、JR北陸線から民営化した「あいの風とやま鉄道」で小杉駅から富山駅に向かった。所要時間は約10分。富山駅から9:03分発の上り「かがやき」東京行きに乗って、長野駅で9:59分に降りた。所要時間はノンストップでわずか46分。富山県内の各地へ自家用車で行く所要時間より短い。時間マップの大幅な書き換えが必要なることを実感した。新幹線の普通車は1列5人だが、ABC席が3人掛け、DE席が2人掛けで、DE席が先に売り切れるが、そのことは意外と知られていないようである。また、A席側が海側、E席側が山側で、立山連峰の壮観を見たい時はE席側に座るとよい。新幹線各席に備えの自由にお持ち帰り雑誌「トランヴェール」3月号には北陸新幹線開業記念「美味を訪ねて北陸を知る」と題して各地の食文化が載っていた。富山県関係では「富山湾の新鮮な海の幸に乾杯」と題して、「ブリやイワシで知られる氷見で、多彩な海の幸を」、「新湊の名物、ズワイガニやシロエビなどが食を彩る」、「富山湾・滑川のホタルイカは、味が濃く、格別なおいしさ」と特集していた。集客には宣伝が大切。宣伝不足な事が多々あると思った次第である。

さて、今年2月~3月には、本学の38名の学生がアメリカオレゴン州のポートランド州立大学の留学プログラム(語学研修)を約4週間にわたって経験した。彼らの多くは往路では、JR在来線を利用し、復路では北陸新幹線を利用したとのことである。時間マップの大幅な書き換えを本学学生は実感したことと思う。以前にも書いたが小生、大学院修士課程を修了後、日本国有鉄道(現JR)に数年間在職した。採用試験の面接で北陸新幹線の工事をやりたいと採用されたのであった。同期入社が、現在、北陸新幹線で活躍しており感慨深い。北陸新幹線と期を同じくして、本学は平成27年4月に法人化された。公立大学法人富山県立大学として、地域及び国際社会そして産業振興に貢献することが期待されている。本学では今後、新研究棟の整備をはじめとして、全5学科の定員拡充をここ1~2年内に行う計画である。まさに、人の流れ、そして物の流れが大幅に変わろうとしている。

(学生部長 中村清実)



この用紙は資源保護のため、インキは植物油インキを使用しています。

再生紙を使用しています。